

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

平成28年度第1回水戸市健康づくり推進協議会

2 開催日時

平成28年6月29日（水） 午後2時00分から午後3時00分まで

3 開催場所

水戸市保健センター2階 予防接種室

4 出席した者の氏名

- (1) 委 員 土居幹雄，原毅，早船徳子，青木かを里，猿田範男，大澤賢祐，
岩間秀男，菊池興安，安齊昭子，矢田部秀夫，田上恵子，石渡勇，
堀江恵子，田中真己，袴塚孝雄
- (2) 執行機関 秋葉宗志，根本一夫，大曾根明子，川津英臣，谷津好行，小林秀一郎，
岡部裕子，龍田晴美，谷津洋子，澤嶋暁子，人見裕美，筒井貴恵，
城戸麻衣子，吽野洋一，清水圭子

5 議題及び公開・非公開の別

- (1) 水戸市健康増進・食育推進計画の策定について（公開）

ア 報告事項

水戸市健康増進・食育推進計画（第2次）策定基本方針について

イ 議事事項

水戸市健康増進・食育推進計画の策定について

- (2) その他（公開）

6 非公開の理由 適用なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人

8 会議資料の名称

- ・平成28年度第1回水戸市健康づくり推進協議会次第
- ・水戸市健康づくり推進協議会条例
- ・水戸市健康づくり推進協議会委員名簿
- ・水戸市健康づくり推進協議会席次表
- ・水戸市健康増進・食育推進計画（第2次）策定基本方針
- ・水戸市健康増進・食育推進計画スケジュール表

9 発言の内容

議 長 ただ今、会長に任命されました____でございます。健康づくり推進協議会は結構長くやっております、顔なじみの方も、初めての方もいらっしゃいますので、皆様のきたんのない御意見を頂きたいと思っております。今日は議題が1つです。どんどん御意見を頂ければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

___委員 副会長に任命されました___でございます。会長を補佐して良い計画ができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議 長 議題に入ります。議題1) 水戸市健康増進・食育推進計画(第2次)策定について事務局から説明をお願いします。

執行機関 (水戸市健康増進・食育推進計画(第2次)策定基本方針について説明)

議 長 これに対しての御意見や御質問について、御自分の職域に関する御意見を含めて受けたいと思います。いかがでしょうか。

___委員 茨城県食育推進計画は、あらゆる世代を超えて、どういう形で食を通じた健康増進を行っていくか、生活の質をどうやって向上させていくかが重要な視点になっています。当計画は他の様々な計画とリンクさせるとのことですが、どういう形でやっていくのでしょうか。国は数値目標を示せと言いますが、目標設定の仕方をどのようにしているのか、プロセスをどう評価するか、7年という長い期間のため中間報告や見直しなど、評価の仕方が大事なところだと思います。

___委員 来院患者を診ると、子供、成人、高齢者とどの世代も食事のバランスが悪いです。カロリーしか考えていません。タンパク質が必要なのに、他から補っているからいいかと思っている人が多いです。食事バランスが悪いと、将来寝たきりが懸念されます。

___委員 きちんと朝食をとっていない子供や大人が増えています。産婦人科でも妊婦さん自身食べていません。母親が食べないから子供も食べない。そういう習慣ができています。教育が必要です。

また、水戸市は検診の受診率が低いです。何をやっているのかと言われますが、小さい市町村だと個別に対応できますが、水戸市は個別の対応は難しいと思います。受診率を上げる何か良い案があればよいです。保健推進員が地域で活躍しているので評価したいです。市民を取り込み、活動できるようになると良いと思います。

___委員 平成25年度に水戸市歯科保健計画がライフステージごとに策定され、妊婦歯科検診や医療機関での歯周病検診が始まりました。8020、6424を目指して歯を残そうと運動を行っています。国保データでは、8020で残歯が多い人は、医療費が少ないことや入院期間が短いとありました。健康増進と食育計画を併せて作るとは理にかなっていると思います。食育と歯は密接な関係があり、楽しくおいしく食べられるよう、健康を保てるよう、歯科保健計画も進めていきたいです。

___委員 私の小学校区では朝食を食べない子の割合が20%を超えています。朝食を欠食する親子が多いし、夜遅く食べる子供が多いので、親の教育が必要です。

___委員 高齢者クラブの会員は、年齢差があり、健康についての意識も個人差があります。仲間同士の会話も、健康のことや孫のことが話題になります。自分たちの世代は戦時中に育っているので食事の好き嫌いはありませんが、今は物が豊富にあるので、偏食になるのではないのでしょうか。

___委員 食生活改善推進員として子供から高齢者まで、食を通して健康になるために活

動しています。小学校の親子料理教室は、好評で応募者数が多く、断る場合もあります。毎年同じ人が応募している傾向もあり、検討が必要です。3年前から個別クラブを始めており、個人宅を突然訪問し、塩分調査をしています。塩分検査をしますからと市民センターに持ってくるよう言うと薄くしてしまうので、訪問してとても良かったです。食事の大切さを子供へアプローチすることが効果的であると思います。

___委員 市内のひとり暮らし高齢者は約7,000人いますが、東日本大震災後は4日間で全員の安否を確認することができました。ただ男性は、自分で調理できる人が少なく、栄養バランスが偏り、体を壊してしまうので、施設と自宅の行き来を繰り返す方が多いです。そのため月に1～2回は回って確認しています。

12月から民生委員改選となりますが、なり手がいません。どうしても後任がない場合は、近辺地区を掛け持ちすることになります。

___委員 自身は、健康のため30品目を取り、減塩して、楽しく食べることをモットーにしています。

保健推進員として活動していますが、受診率向上が一番の目的です。地域の方が健康で長生きできるように声掛けしています。受診率は低いのですが、通院している方は多いです。声掛けをすると、「病院にかかっているから大丈夫」と言われてしまうこともあります。通院の際は、受診券を持っていくよう、全部を見てもらうようお勧めしています。受診率を上げるためには医師にも検診の受診勧奨の協力をお願いしたいと思います。

___委員 個人的には口から入るものが病気を作っていると思っています。自身は野菜中心に取るようにしています。3年前に退職しましたが、退職後は一度も健診を受けていません。これからは自分の健康は自分で守るために健診を受けたいと思います。

___委員 前計画報告書のアンケート結果から、夕食を家族と一緒に食べている人の割合は小学生が90%以上と高かったですが、食べてはいるがコミュニケーションが十分取れているかと考えてしまいます。それと、調理に参加している子供の割合が低いことが分かります。親の働き方も影響していると思いますが、男子にも関心を持たせるように、親への働きかけが必要だと思います。今回既にアンケートは実施したとのことなので、結果を楽しみにしています。

___委員 自身は食事量が余り取れないので、バランス良く、よくそしゃくして食べるようにしています。元気な子供や高齢者はきちんと食べています。食事は生きていく上で大事なことです。食べてもらうためにはどうすればよいかを考えていかなければなりません。若い人、特にダイエットをしている女性はサプリを摂れば大丈夫と思う人が増えています。食事を作らなくなるにつながっていきます。昔は家を出る時は食事が作れるようにしつけましたが、今はそうではありません。こういうことを含めて、食に関しては行政が地域を含めて食事の大切さを教えていく必要があります。特に、幼児教育の年代でもう一度見直す必要があると思います。

____委員 食育という言葉が使われて久しいですが、イメージだけで内容や学問的なことは出来上がっていません。食育は漠然とした大きなものなので、話題が大きすぎて大変難しいテーマであります。健康増進が前提にあつての食育であり、食育を含めた保健指導に目を向けるべきです。

職域は必ず健診を受けなければなりません、退職後は受けていない方が多いです。受診率向上についてやるべきことはやっている、できることからやってみてはどうでしょうか。受診率を上げるためのプロジェクトチームを作つてはどうでしょうか。特定健診を受けることで、特定保健指導、食育の指導につながります。この流れを作ることが必要です。

議 長 皆様からたくさんの御意見を頂いて、これらの御意見が計画につながります。一番大切なのは家庭だと思えます。親がきちんと御飯を作らないと味が分かりません。「早寝・早起き・朝ごはん」が基本、実行してほしいです。水戸市は農業も盛んであり、地産地消も計画で目指したいです。

生活習慣病の改善も重要です。透析患者の多くは糖尿病が原因疾患です。透析患者本人の自己負担はありませんが、莫大な医療費がかかります。これらのことを市民へ示してはどうでしょうか。

議 長 これらの意見を今回の計画に盛り込んでもらえれば、良い計画が出来上がるのではないかと思います。他に一言ありますか。

それでは議題1は終了します。

議題2のその他はございますか。(なし。)

それでは、議題2つ終了いたしましたので、本日の議事をお返しいたします。

執行機関 本日は貴重な御審議ありがとうございました。